

令和3年度 国東市：大分県学力定着状況調査結果分析（中学校2年生対象：英語）

1 結果のポイント

全問題数：33問（知識21問、活用12問）

- ・偏差値（知識48.7 活用50.0）で、平成31年度（知識51.0 活用45.2）から知識が2.3ポイント下回り、活用が4.8ポイント上回っている。
- ・領域別では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のすべての領域において、目標値を下回っている。
- ・観点別では、すべての観点において目標値を下回っている。
- ・今回の調査においては、特に、「リスニング（様々な英文の聞き取り）」「長文の読み取り」「情報に基づいて書く英作文」に課題がある。

領域別正答率

領域	正答率	目標値
	国東市	
聞くこと	69.4	71.7
読むこと	54.4	56.8
書くこと	40.1	43.0

観点別正答率

問題の内容	正答率	目標値
	国東市	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	55.4	57.9
外国語表現の能力	37.8	41.5
外国語理解の能力	59.8	62.4
言語や文化についての知識・理解	56.7	58.8

問題内容別正答率

問題の内容	正答率		目標値
	国東市	大分県	
リスニング（内容理解）	83.7	88.5	83.3
リスニング（対話文の応答）	61.5	63.8	63.8
リスニング（さまざまな英文の聞き取り）	*63.7	65.1	70.0
語形・語法の知識・理解	51.0	54.9	55.0
語彙の知識・理解	82.7	85.7	80.0
さまざまな英文の読み取り	58.8	60.1	58.8
長文の読み取り	*39.4	38.5	45.0
単語の並べかえによる英作文	42.0	46.2	45.0
場面に応じて書く英作文	39.8	39.2	35.0
情報に基づいて書く英作文	*28.4	35.2	38.3
3文以上の英作文	50.6	53.4	51.7

2 課題が見られた問題と指導の改善事項（領域別）

(1) 「聞くこと」（対話文の応答、さまざまな英文の聞き取り）

- ・ 絵を適切に表している英文の聞き取り（時刻 4 : 30）
- ・ 対話の内容を聞き取り、適切に応答する問題
（いくつ持っているかを問われ答える問題）
- ・ 英文の要点を聞き取る問題（一番伝えたいことは？）
- ・ 対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答える問題【-17.2 ポイント】
動物園のホームページの「新しい動物の紹介」の紹介記事の情報をもとに、Aの質問にBが答える内容を3語以上の1文で書く。



- ◎目的や状況、場面などの設定を工夫しながら、話し手がどのような人で、何を求めているのか、この場面でどのような応答がふさわしいのかを考えさせ、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させる。
- 教科書の **Take Action!** のページなどを活用し、必要な情報や会話・説明の概要・要点を聞き取らせる。考えや情報を整理し表現活動につなげる。
 - ・ 聞き手が必要な情報を聞き取る
 - ・ 話し手が伝えたいことを聞き取る
 - ・ 話の要点を聞き取る
- 日頃より、帯活動等で既習表現をスパイラルに活用する練習を行う。（ペアトーク）

(2) 「読むこと」

- ・ 語形・語法の理解（現在進行形の疑問文、代名詞 them、whose、）
- ・ 英文の情報の正しい読み取り
- ・ 長文の読み取り
 - ①指示語 them の示す内容を選ぶ問題
 - ②メールの内容を把握し、少年が買った本を絵で選ぶ問題【-12.5 ポイント】



- 新文型導入の際には、語形・語法を理解した後、使用場面を設定し繰り返し使って定着させるようにする。
- 教科書本文や教科書以外の初見の文を使って、長文の読み取りのコツを身につけさせる。
大まかな流れを理解する、前から読む、指示語の内容を確認しながら読むなど。
- 必要な情報や文章の概要・要点を読み取る活動を入れる。
絵で選ばせる、タイトルをつけさせる、一番伝えなかったことについて考えさせるなど。
- 説明文を読んで要点を把握し自分の考えなどを述べたり、広告、予定表、電子メールなどを読み必要な情報を得て応答したりする。

(3) 「書くこと」

- ・並べ替えによる英作文（否定の命令文 Don't open that door.）
- ・情報に基づいて書く英作文（友達紹介：所属する部活、can を使った否定文）
He is on the soccer team. (-12.5 ポイント)
- ・3 文以上の英作文（自分の出身地の紹介文）



○初歩的な英語（単語、基本表現）を正しく書くことができるようにする。

- ・毎時間の授業で、既習の文法を使って自分に関わることで1～2文の英文を書かせ、「書くこと」に慣れさせる。単元末のプロジェクトでテーマに沿って3～5文書いてスピーチをしたり、伝え合ったりする活動をさせる。

○語順整序、語数やキーワードの提示、参考となる英文を提示しての自己表現、テーマのみ設定した英作文など、段階を経ながら書くことに取り組ませる。

○意見や考え、気持ちなどを書く活動を増やす。

- ・聞いたり読んだりした内容について感想や賛否などを書く。

「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た情報や知識などについて、感想や賛否、自らの体験や考えなどと結び付けて書くことにつなげる。

3 指導の改善のポイント（全体を通して）

- (1) 付けたい力を明確にして、単元の指導計画及び1時間の授業展開を構想することが大切である。基礎的・基本的事項の定着のために、既習表現を繰り返し活用させていくことが大切である。
- (2) 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の基礎的な言語活動をバランスよく計画的・系統的に行う。言語材料について理解したり練習したりする活動に終始することなく、聞くことや読むことを通じて得た情報や知識などについて、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する活動につなげていく。
- (3) 毎時間の授業で、生徒が英語を聞く時間を十分にとる。教師自身がコミュニケーションの手段として授業中に積極的に英語を使用したり、ALTを活用したりすることで、授業全体を、英語を使った「実際のコミュニケーションの場面」にする。
- (4) 生徒が、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動に取り組ませることを通して、「思考力、判断力、表現力等」を育成し、その繰り返しにより「知識及び技能」を獲得させる。その際、生徒がコミュニケーションの目的、場面、状況などを意識して活動を行うように課題を設定する。
- (5) 生徒が「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、主体的に学ぶ意欲や態度の育成を含めた具体的な指標形式の目標を設定し、生徒が達成感を得られるようにする。
- (6) 生徒指導の3つの機能を生かした授業づくりを推進する。自分で考え、表現し、それをペアやグループなどで伝え合わせることで認め合い、学び合うことができる授業をつくる。